



明豊5連覇 甲子園へ

▽決勝

明	豊	0	0	0	0	0	0	1	0	1		2
舞	鶴	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1

舞鶴 終盤に力尽きる



2-1で舞鶴を下して優勝を決め、喜ぶ明豊ナイン。別大興産スタジアム。撮影・江藤成吾

第107回全国高校野球選手権大分大会最終日は26日、大分市の別大興産スタジアムで決勝があった。明豊が2-1で舞鶴を破って5年連続11回目の優勝を飾り、甲子園出場を決めた。明豊は1点を追う七回、相手の失策で追い付いた。1-1で迎えた九回、1死二塁から内野ゴロで相手守備が乱れる間に、岡田晴樹主将(3年)が勝ち越しのホームを踏んだ。

先発大浦崇輔(同)は5回1失点と試合をつくり、六回から登板したエース寺本悠真(同)も粘投。1点を争う好ゲームを制した。

最後の打者を中飛に打ち取り、優勝が決まると、マウンドに歓喜の輪が広がった。

全国選手権は8月5日、兵庫県の甲子園球場で開幕する。組み合わせは開幕試合のみ同日に決まり、第2日以降分は同3日に抽選がある。

購読お申し込みは
フリーダイヤル 合同 ミナヨム
0120-510-374
または、お近くのプレスセンター(販売店)